



渋川青年の家まつり 3年ぶり開催



県渋川青年の家で6日、「渋川青年の家まつり」が開かれた。新型コロナウイルス禍で3年ぶりの開催となり、親子連れらが多彩

なステージやゲームなどが次々に挑戦した。体育館のステージでは、日比中吹奏楽部の演奏や玉野高ダンス部のパフォーマンス、渋川婦人会の民踊などが披露されて盛り上がった。

ほかに、渋川婦人会や潮さいクラブのメニューバーによる手芸品などの展示、貝殻を使ったキーホルダー作りのコーナーもあった。

渋川保育園年長組の大賀幸之助君(5)は「いっぱい練習したシンバルが上手にできた。ゲームもたくさんあって楽しかった」と笑顔で話していた。まつりは県渋川青年の家が地域との連携や住民同士の交流を目的に魚釣りのゲームに挑戦する子どもたち

多彩なステージ、ゲーム

なステージやゲームなどを楽しんだ。渋川保育園鼓隊演奏は、日比中吹奏楽部の演奏や玉野高ダンス部のパフォーマンス、渋川婦人会の民踊などが披露されて盛り上がった。に11月ごろに開催しており、今回で23回目。(矢吹喜一朗)